ムーンショット型研究開発事業

新たな目標検討のためのビジョン公募

調査研究提案書

*【留意事項】*

*〇本様式に限らず、斜字体の注意書き等を削除して構いません。*

*〇文字修飾・フォント・行間は自由に調整していただいて構いませんが、*

*様式２「調査研究構想」のみ、10.5ポイント以上の文字でご記入ください。*

*〇e-Radに提案書をアップロードする際、ファイルは3MB 以内を目途としてください。*

*（e-Radの最大容量は10MBです。ファイル中に画像データを使用する場合はファイルサイズに注意してください）。*

*〇e-Rad記入情報について、提案書の記載と相違が認められた場合は、提案書の記載を正として取り扱います。*

*〇「様式１」については、ページ数の制限はありません。*

**１．目標検討チーム基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 目標検討チーム名 | *※採択公表時にチーム名は公表されます。* |
| 提案者（e-Radを通じて応募手続を行った方）の情報 | 氏名：　　　　（●歳）*(年齢は2020年4月1日時点での年齢を記入してください)*所属・役職：（記入例）●●大学大学院●●研究科 助教*「大学院○〇研究科」「特任准教授」等、略さず正しくご記入ください。*専門分野：URL: *【提案者の情報を掲載したウェブサイトURLを記入してください】* |
| 目標検討チームでの提案者の役割 | □チームリーダー　□サブリーダー　*（いずれか１つ選択）* |
| サブリーダーの情報（提案者がサブリーダーの場合は、チームリーダーの情報） | 氏名：●●　●●（年齢：●歳）*(年齢は2020年4月1日時点での年齢を記入してください。)*所属・役職：（記入例）●●大学大学院●●研究科 助教専門分野：URL: *【サブリーダーの情報（提案者がサブリーダーの場合は「チームリーダーの情報」）を掲載したウェブサイトURLを記入してください】* |
| チームメンバー①の情報 | 氏名：●●　●●（年齢：●歳）*(年齢は令和２年４月１日時点での年齢を記入してください)*所属：（記入例）●●大学大学院●●研究科 助教 |
| チームメンバー②の情報 | 氏名：●●　●●（年齢：●歳）*(年齢は令和２年４月１日時点での年齢を記入してください)*所属：（記入例）特定非営利活動法人●●　代表 |
| チームメンバー③の情報*※チームメンバーが４名以上となる場合は、適宜本欄をコピーの上記入してください。* | 氏名：●●　●●（年齢：●歳）*(年齢は令和２年４月１日時点での年齢を記入してください)*所属：（記入例）●●株式会社○○部門 課長 |
| 目標検討チームの自己PR | *本提案の着想に至った経緯、チームリーダー・サブリーダー・チームメンバーの様々な実績・開発能力・特技等のアピールや、チームリーダー・サブリーダー自身が将来的に何をやりたいのか、またその芽となる内容と本提案のとのかかわり等について、具体的なエピソードを挙げながら、自らの言葉で詳述してください。この欄を省略することはできません*。 |
| 調査研究費総額（採択から令和3年6月末日まで） | 全期間での調査研究費総額(　　　　　千円) |

**２．提案の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 提案の要旨 | *本調査研究提案の要旨を400字以内（句読点を含む）で記述してください。* |
| 提案者の描く2050年の社会像 | *本調査研究を通じて検討するムーンショット目標候補案が達成できれば、どのような新たな価値が学術・産業・文化・社会にもたらされるのか。目標検討チーム自身が望み、切り開きたい2050年の社会像や、価値観の変化を記述してください。なお、提案いただく2050年の社会像は、新型コロナウイルス感染症に関連したものに限りません。* |
| キャッチフレーズ | *前項で記述した「提案者の描く2050年の社会像」を端的に表したキャッチフレーズを50文字以内で簡潔に表現してください。採択公表時に本キャッチフレーズは公表されます。* |

# 調査研究構想

* *さまざまな専門分野の評価者にとって理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図表(カラー可)も用いてください。*
* ***様式２は、A4用紙　4ページ以内(厳守)で記述してください。また、10.5ポイント以上の文字等を使用してください。(これらが遵守されていない場合、提案が不受理となることがあります。)***
* *提案書からは、本様式に限らず、斜体の注意書き等を削除して構いません。*

## １．提案者の描く社会像の適切性

*（様式１）で言及した、提案者の描く2050年の社会像（調査研究を通じて、提案した2050年の社会像を、新たなムーンショット目標候補にブラッシュアップしていただきます）が、以下のムーンショット目標策定の基準「Inspiring」「Imaginative」に照らし合わせてなぜ適切と考えるか、詳しく説明してください。*

　**（１）提案者の描く社会像がInspiringであると考える理由**

***＜ムーンショット目標策定基準＞***

***Inspiring：***

*・目的や緊要性が明確に理解されるもの*

*・独創性にあふれており、実現すること自体が困難だが、*

*実現すれば将来の産業・社会に大きなインパクトが期待されるもの*

*・多くの国民や海外と価値観を共有できるものであること*

*・我が国の国益や産業競争力の確保に向け、科学者の英知を結集して行うことができるもの*

　　**（２）提案者の描く社会像がImaginativeであると考える理由**

***＜ムーンショット目標策定基準＞***

***Imaginative***

*・未来の社会システムの変革をも目指すものであること*

*・多くの国民が、テクノロジーが切り拓く未来の可能性を明確にイメージできるもの*

## ２．調査内容

**（１）社会像から新たなムーンショット目標候補案の検討に向けた調査手法**

*提案する2050年の社会像から、今後、新たなムーンショット目標候補案（目標、ターゲット等）を検討（ブラッシュアップ／具体化等）するに当たって、どのような調査をしながら検討していくのか説明してください。*

*調査にあたってのチームリーダー・サブリーダーの切り口やアイデアの斬新さを交えて、さまざまな専門分野の評価者にもその価値が伝わるようにわかりやすく、かつ出来る限り具体的に記述してください。特に、国際ワークショップ等、世界中から英知を結集して様々なアイデアの融合を図る場を設けるにあたっては、どのような形式で、どのような方々を対象として意見交換を進めるかについても説明してください。*

**（２）社会像実現時の社会へのインパクト及びその根拠に関する調査手法**

　*提案する2050年の社会像の実現に向けた取り組みの必要性や、取り組みの結果として期待される産業や社会への波及効果について、どのような調査を通じて明らかにするか説明してください。*

*調査にあたってのチームリーダー・サブリーダーの切り口やアイデアの斬新さを交えて、さまざまな専門分野の評価者にもその価値が伝わるようにわかりやすく、かつ出来る限り具体的に記述してください。*

**（３）社会像実現に向けたシナリオや研究開発テーマに関する調査手法**

*（２）を踏まえ、2050年の社会像からバックキャストした2030年時点での具体的な達成目標をどのようにして明らかにするか、また、2030年時点での達成目標に向けて重点的に取り組むべき研究開発テーマ、それにかかる研究開発動向について、どのような調査を経て明らかにするかについて記述してください。*

*また、本調査を通じて定める2030年時点での目標達成後、2050年におけるムーンショット目標達成に至るまでのシナリオを、どのような調査を行うことで明らかにしようとしているかを記述してください。特に、国際ワークショップ等、世界中から英知を結集して様々なアイデアの融合を図る場を設けるにあたっては、どのような形式で、どのような方々を対象として意見交換を進めるかについても説明してください。*

**（４）社会像の実現可能性やその根拠に関する調査手法**

*ムーンショット目標策定の基準「Credible（下記参照）」に照らし、提案する2050年の社会像の科学的な実現可能性、検証可能な達成基準をどのようにして本調査で明らかにするかを説明してください。調査にあたってのチームリーダー・サブリーダーの切り口やアイデアの斬新さを交えて、さまざまな専門分野の評価者にもその価値が伝わるようにわかりやすく、かつ出来る限り具体的に記述してください。*

***＜ムーンショット目標策定基準＞***

***Credible***

*・野心的であるが、科学的に実現可能性を語り得るもの（実現可能性のある技術的なアイデアが複数存在すること）*

*・達成状況が検証可能なものであること*

*・既存の関連する戦略や施策の方向性と整合的であり、それらの成果も統合的に活用できること*

*さらに、調査結果を踏まえて調査報告書を作成するにあたって、どのようなまとめ方を行い、ムーンショット目標の決定に向けて訴求力のあるものにするか、チームリーダー・サブリーダー独自の工夫を交えて具体的に説明してください。なお、調査報告書の項目は、公募要領3.4* *「調査研究期間終了後に求める成果」をご参照ください。*

**（５）チーム編成の経緯とその必要性**

*チームリーダー・サブリーダー・チームメンバーとのこれまでの接点について記載のうえ、チーム編成の経緯ならびに、目標検討チームにおいて当該人材が必須である理由を説明してください。*

*また、チームメンバー等の若手人材に対して、本調査へ参画していただくことにより、若手人材自身のキャリアにどのような意義をチームリーダー・サブリーダーとしてもたらすことができるかについて、その考えを記述してください。*

*なお、提案時にチームメンバーが定まらない場合には、現状で必要と考えるチームメンバーの要件について具体的に記述してください。*

**（６）本調査研究の副次的な効果**

*本調査研究を実施する過程で、チームリーダー・サブリーダー・チームメンバーそれぞれが関わるコミュニティにどのような新しい作用・効果がもたらされるか。本調査研究の副次的な効果について、（１）～（２）の調査の過程を想定し、具体的なコミュニティを挙げながら、その考えを記述してください。*

# 用語の説明

***様式３は、A4用紙　1ページ以内(厳守)で記述してください。 (遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)。本様式「用語の説明」では、文字の大きさを変更することは可能です。***

* *さまざまな専門分野の評価者が調査研究内容を理解するために有用と思われる用語の説明を記述してください。必要に応じて図表(カラー可)も加えて構いません。*

# 職務経歴及び主な業績

***様式4「職務経歴及び主な業績」では、文字の大きさを変更することは可能です。また、様式4についてはページ数に制限はありません。***

　*チームリーダー、サブリーダー、及びチームメンバーの職務経歴や、主な業績を記載してください。業績として論文・著書に言及する場合は、書誌情報だけを掲載するのではなく、どのような内容に関するものかをわかりやすく説明してください。チームメンバーについては、本調査研究におけるそれぞれの役割についても言及してください。チームメンバーが４名以上となる場合は、適宜本欄をコピーの上記入してください。*

　（１）チームリーダー：○○ ○〇

（所属・役職：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　（２）サブリーダー：○○ ○○

（所属・役職：　　　　　　　、本調査研究における役割：　　　　　　　　　　　　　）

　（３）チームメンバー①：○○ ○○

（所属・役職：　　　　　　　、本調査研究における役割：　　　　　　　　　　　　　）

　（４）チームメンバー②：○○ ○○

（所属・役職：　　　　　　　、本調査研究における役割：　　　　　　　　　　　　　）

　（５）チームメンバー③：○○ ○○

（所属・役職：　　　　　　　、本調査研究における役割：　　　　　　　　　　　　　）

# 研究費の応募・受入等の状況

***様式５「研究費の応募・受入等の状況」では、文字の大きさを変更することは可能です。また、様式５についてはページ数に制限はありません。***

*チームリーダーが現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、制度名ごとに、課題名、実施期間、役割、本人受給研究費の額をご記入ください。*

※ 公募要領「4.2不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。

※ 記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※ 現在申請中・申請予定の研究助成等について、この調査研究提案の選考中にその採否等が判明する等、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、公募要領の巻末に記載されたお問い合わせ先まで電子メールでご連絡ください。

※ 面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

（記入例）必要に応じて行を増減してください。

■チームリーダー：○○　○○

（１）応募中の研究費

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 2020 年度の経費※1(期間全体の額) | 本調査研究提案との関連・相違点※2  |
| 【本事業】ムーンショット型研究開発事業新たな目標検討のためのビジョン公募 |  | 代表（チームリーダー） |  |  |
| *科学研究費**補助金**基盤研究(S)**（2020年4月～**2024年3月*） | *××による◇◇の創成**(○○○○)* | *分担* | 100,000千円*（総額 XXXXXX千円）* | *関連あり。**本提案との関連：・・・・* |

（２）受け入れ予定の研究費

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 課題名（代表者氏名） | 役割(代表・分担等の別） | 2020 年度の経費※1(期間全体の額) | 本調査研究提案との関連・相違点※2 |
| *JST戦略的創造研究推進事業CREST**2019年10月～2024年3月）* | *××による◇◇の高機能化**(○○○○)* | *分担* | 140,000千円*（総額 XXXXXX千円）* | *関連なし* |

※1 直接経費をご記入ください。※2 本事業以外への応募がない場合には記入不要です。

# 特記事項

***様式６「特記事項」は、A4用紙1ページ以内で記入してください(遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)。様式６は、文字の大きさを変更することは可能です。***

## ○ チームリーダーの所属機関に対するJSTの出資の有無

チームリーダーの所属機関に対するJSTの出資：有・無

*＜記入にあたっての注意点＞*

*募集要項「2.8.2利益相反マネジメントの実施 (2)JSTの利益相反マネジメント」の記載に従い、研究提案者の所属機関がJSTの出資先企業に該当するか否かを記載してください。*

*※JSTの出資先企業については下記ウェブサイトを参照してください。なお、出資を終了した企業は利益相反マネジメントの対象ではないため、申告の必要はありません。*

*https://www.jst.go.jp/entre/result.html#M01*

*※申告の基準日は公募開始日とします。当該日時点でJSTからの出資が公表されている企業について申告してください。出資内定済み等であるが未公表の企業については、JST内部の機密保持のため、申告の必要はありません。*

*JSTの出資公表については下記ウェブサイトを参照してください。*

*https://www.jst.go.jp/entre/news.html*

## ○ ビジョナリーリーダーとの利益相反に関する情報

　（１）チームリーダー（*氏名* ○○ ○○）とビジョナリーリーダーとの利害関係が

　[ ] ある　[ ] ない　*※ どちらかを選択*

「ある」の場合、具体的内容：

（２）サブリーダー（*氏名* ○○ ○○）とビジョナリーリーダーとの利害関係が

　[ ] ある　[ ] ない　*※ どちらかを選択*

「ある」の場合、具体的内容：

*＜記入にあたっての注意点＞*

*チームリーダー・サブリーダーと、ビジョナリーリーダーとの利害関係の有無をご選択ください。「ある」の場合は、その内容を具体的に記載してください。公正で透明な評価を行う観点から、チームリーダー・サブリーダーと利害関係を有するビジョナリーリーダーは選考に加わりません。*

*ここで対象とする利害関係者の定義は以下の通りです。*

*1) ビジョナリーリーダーと親族関係にある者*

*2) ビジョナリーリーダーと大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の学科、専攻等又は同一の企業に所属している者*

*3) ビジョナリーリーダーと緊密な共同研究を行う者(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいはビジョナリーリーダーの研究課題の中での共同研究者等をいい、ビジョナリーリーダーと実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者）*

*4) ビジョナリーリーダーと密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者*

*5) ビジョナリーリーダーの研究課題と学術的な競争関係にある者又は市場において競争関係にある企業に所属している者*

*なお、チームリーダーまたはサブリーダーからJSTへの申告がない状態で、ビジョナリーリーダーとの間に、利害関係の要件に該当することが確認された場合は、JSTにて相応の理由が認められない限り、不採択や中止の措置を講じる場合があります。*

## ○ 調査研究を実施する場所（JSTとの契約予定先）

（いずれか１つを選択）

□チームリーダーの現所属機関（機関名：　　　　　　　　　　　）

□サブリーダーの現所属機関（機関名：　　　　　　　　　　　　）

□その他(機関名：　　　　　　　　　　　　　)

*JSTが委託研究契約を締結し、調査研究費をお支払いするのは、原則としてチームリーダーの所属機関とします。なお、チームリーダーの所属が海外の機関の場合は、サブリーダーの所属する国内所属機関と委託研究契約を締結します。所属機関が大学等の場合は、機関名は部局名も含めて記述してください。*